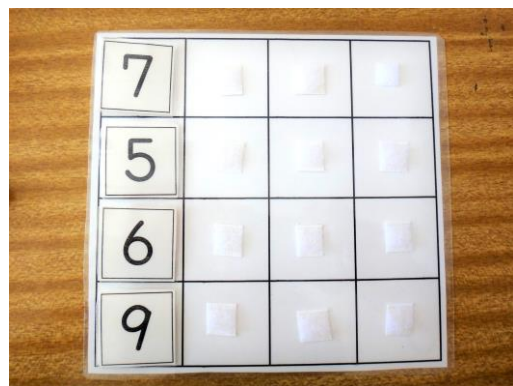
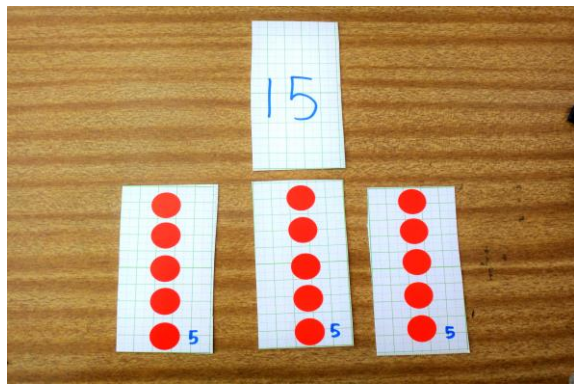
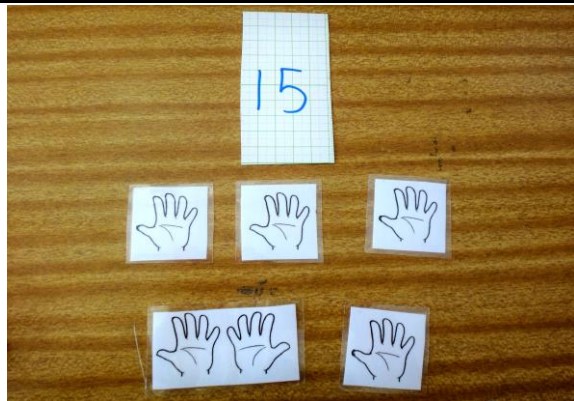


教材・教具名	5のまとまりを認識し、5飛び10飛びで数を数えられるようになる
教科（分類）	数学科（数）

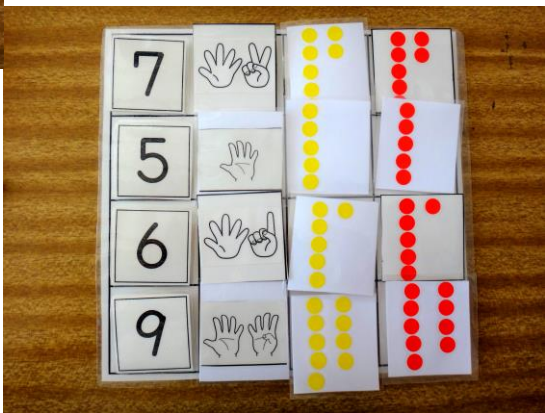
教材・教具写真



5, 10, 15など、5の倍数カードを提示し、5の指カード、○シール、10の指カードとの混在などパターンを変えて、答えを見つける練習をする。



5のまとまりを意識しやすいように、『5+いくつ』で左数字と同じものになるか貼っていく。ラミネートにマジックテープをつけている。



- 1 児童生徒の実態

時計を1分2分と分刻みでは数えることが出来るが、5飛び10飛びで数えることが難しい。
10円が5円硬貨2枚と同じだと考えることが難しい。
- 2 期待する効果、伸ばしたい力

5・10・15などの中に、5のまとまりがいくつあるか答えられるようになる。
アナログ時計を見て15分後は何時何分の質問に、5飛び10飛びで長針を数えることが出来るようになる。

